

(提案 1)

【幹事会附置委員会】

【小委員会】

○委員の決定（追加 1 件）

（ 東日本大震災復興支援委員会 原子力発電所事故に伴う健康影響評価と国民の健康管理並びに医療のあり方検討分科会 原子力発電所事故被災住民の「二重の地位」を考える小委員会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
岡田 正則	早稲田大学大学院法務研究科教授	連携会員	第一部
人見 剛	早稲田大学大学院法務研究科教授	連携会員	第一部

(提案 2)

科学と社会委員会運営要綱（平成 17 年 10 月 4 日日本学術会議第 1 回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改 正 後				改 正 前			
(略)				(略)			
(分科会)				(分科会)			
第 2 委員会に、次の表のとおり分科会及び小委員会を置く。				第 2 委員会に、次の表のとおり分科会及び小委員会を置く。			
分科会	調査審議事項	構 成	備 考	分科会	調査審議事項	構 成	備 考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
(廃止)				政府、社会及び国民等との連携強化分科会	政府、社会及び国民等との連携の強化に資する情報発信その他の方策の検討及び実施に関すること	会長、副会長（日本学術会議会則第 5 条第 2 号担当）及び会員又は連携会員 20 名以内	
(略)				(略)			

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

科学と社会委員分科会の設置について

分科会等名： 政府、社会及び国民等との連携強化分科会

1	所属委員会名	科学と社会委員会
2	委員の構成	会長、副会長（日本学術会議会則第5条第2号担当）及び幹事会が必要と認める会員又は連携会員20名以内
3	設置目的	日本学術会議と政府、社会及び国民等との連携の一層の強化を図り、日本学術会議の存在感をより高めていくためには、日本学術会議からの情報発信を充実させ、インパクトの強化、及び外部からのリアクションの積極的なフィードバックを行うとともに、講演会・シンポジウム等の企画、必要な刊行物、冊子類の準備などの、様々な方策を行っていくことが必要であるため、新たな分科会を設置し、それらを検討、実施するものである。
4	審議事項	政府、社会及び国民等との連携強化に資する情報発信その他の方策の検討及び実施に関すること
5	設置期間	時限設置 常設
6	備考	※廃止 （他の分科会等で審議事項が取り上げられ、役割を終えたため）

(提案 3)

国際委員会運営要綱（平成17年10月4日日本学術会議第1回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改 正 後				改 正 前			
別表 2				別表 2			
小 分 科 会	調査審議事項	構 成	備 考	小 分 科 会	調査審議事項	構 成	備 考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
<u>Gサイエンス学術会議(2016)対応小分科会</u>	<u>Gサイエンス学術会議(2016)への対応に関すること</u>	<u>会長及び副会長（日本学術会議会則第5条第3号担当）並びに会員又は連携会員若干名</u>	<u>Gサイエンス及び ICSU等分科会に置く。</u> <u>設置期限：平成27年5月22日～平成28年9月30日</u>	(新規設置)			

附 則
この決定は、決定の日から施行する。

国際委員会 Gサイエンス及び ICSU 等分科会
小分科会の設置について

小分科会名：Gサイエンス学術会議（2016）対応小分科会

1	所属委員会名	国際委員会				
2	委員の構成	会長及び副会長（日本学術会議会則第5条第3号担当）並びに 会員又は連携会員若干名				
3	設置目的	日本学術会議を含め、G8/G7サミット参加各国等の学術会議（科学アカデミー）は、サミット参加各国の首脳に向けて科学者としての政策提言を行う目的で、平成17年（2005年）以来共同声明をとりまとめている。通常G8/G7サミット議長国の学術会議がテーマの選択や共同声明とりまとめのための会合を開催し、とりまとめられた共同声明を各国同時期に自国の首脳陣に提出している。日本においては、例年日本学術会議会長から内閣総理大臣に直接提出している。 平成24年（2012年）から「Gサイエンス学術会議」と称しているこの活動について、平成28年（2016年）は日本がサミットの議長国となるため、日本学術会議がGサイエンス学術会議を主催する。 本小分科会は、平成28年（2016年）のGサイエンス学術会議の活動の必要な対応について審議することを設置目的とする。				
4	審議事項	平成28年（2016年）のGサイエンス学術会議を開催するために必要な企画立案、実施準備、並びにそのアウトプットとなるGサイエンス学術会議共同声明の活用及びそのフォローアップに関すること。				
5	設置期間	<table><tr><td>時限設置</td><td>平成27年5月22日～平成28年9月30日</td></tr><tr><td>常設</td><td></td></tr></table>	時限設置	平成27年5月22日～平成28年9月30日	常設	
時限設置	平成27年5月22日～平成28年9月30日					
常設						
6	備考	※新規設置				

【機能別委員会】

○委員の決定（新規 1 件）

（ 国際委員会 Gサイエンス及び I C S U等分科会 Gサイエンス学術会議（2016）
対応小分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考	推 薦
小森田秋夫	神奈川大学法学部教授	第一部会員	副会長
長野 哲雄	東京大学名誉教授、独立行政法人医薬品医療機器総合機構理事	第二部会員	副会長
相原 博昭	東京大学副学長・大学院理学系研究科教授	第三部会員	副会長

(提案4)

分野別委員会運営要綱(平成26年8月28日日本学術会議第199回幹事会決定)の一部を次のように改正する。

改 正 後					改 正 前				
別表第1					別表第1				
分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考	分野別委員会	分科会等	調査審議事項	構成	備考
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
法学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	法学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	法学委員会法学分野における国際交流のあり方を考える分科会	法学分野における国際的発進力の向上及び国際学会への加入に関する検討	10名以内の会員又は連携会員			(新規設置)			
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
経営学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	経営学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	経営学委員会経営学分野における研究業績の評価方法を検討する分科会	1. 採用・昇進の際の研究業績の評価基準 2. 学問の体系性と科学的頑健性との関係 3. 大学院生等への査読付きジャーナル向けの教育に係る審議に関すること	15名以内の会員又は連携会員			(新規設置)			
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
基礎生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	基礎生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同進化学分科会	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載			基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同進化・系統学分科会	統合生物学委員会に記載	統合生物学委員会に記載	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
統合生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	統合生物学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同進化学分科会	進化・系統学分野の学協会等の連絡・連携、及び当該分野の発展を期すための調査審議並びに情報発信に関すること	20名以内の会員又は連携会員			基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同進化・系統学分科会	進化・系統学分野の学協会等の連絡・連携、及び当該分野の発展を期すための調査審議並びに情報発信に関すること	20名以内の会員又は連携会員	
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)
情報学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)	情報学委員会	(略)	(略)	(略)	(略)
	情報学委員会ITメディア社会基盤・メディアアーカイブ分科会	ITメディアの社会に与える影響の分析及び、あるべき社会基盤への発展戦略の提言、東日本大震災の記録類のアーカイブと利用方針に関する検討・提言	20名以内の会員又は連携会員			情報学委員会ITメディア社会基盤・震災時メディアアーカイブ分科会	ITメディアの社会に与える影響の分析及び、あるべき社会基盤への発展戦略の提言、東日本大震災の記録類のアーカイブと利用方針に関する検討・提言	20名以内の会員又は連携会員	

	(略)	(略)	(略)	(略)		(略)	(略)	(略)	(略)
(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)	(略)

附 則
この決定は、決定の日から施行する。

法学委員会分科会の設置について

分科会等名：法学分野における国際交流のあり方を考える分科会

1	所属委員会名	法学委員会
2	委員の構成	10名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	法学分野における国際交流・貢献を考えること
4	審議事項	法学分野における国際的発進力の向上及び国際学会への加入に関する検討
5	設置期間	時限設置
		常設
6	備考	※新規設置

経営学委員会分科会の設置について

分科会等名：経営学分野における研究業績の評価方法を検討する分科会

1	所属委員会名	経営学委員会
2	委員の構成	15名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	経営学領域では、近年、新規採用・昇進人事における研究業績の評価において、「査読」及び「英文での執筆」が重視されるようになった。それに伴い、大学院生の研究姿勢も、査読付きジャーナルへの掲載を目指して変化しており、中範囲以下の細かい問題に関する実証研究が急速に増えている。 科学的頑健性を重視する実証研究が経営学の世界でも必要であり、日本の研究者は、その方向の研究において他国の研究者と伍していかなければならないが、他方でグランド・セオリーを意識した体系的な研究が失われてもよいとは言えない。本分科会の課題は、科学的頑健性と体系性との整合性を保ちながら、日本の人文・社会科学をいかに進展させるかを検討することである。 当分科会では、まずは経営学分野に焦点を絞って、研究業績の評価方法に関して総合的に検討を加えて、研究業績評価のあり方について提言を行うことを目的としている。
4	審議事項	1. 採用・昇進の際の研究業績の評価基準について 2. 学問の体系性と科学的頑健性との関係について 3. 大学院生等への査読付きジャーナル向けの教育について
5	設置期間	時限設置 常設
6	備考	※新規設置

基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同分科会の設置について

分科会等名：進化学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	基礎生物学委員会 ○統合生物学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	進化・系統学分野の学協会等の連絡・連携、及び当該分野の発展を期すための調査審議並びに情報発信を目的とする。
4	審議事項	進化・系統学分野の学協会等の連絡・連携、及び当該分野の発展を期すための調査審議並びに情報発信に関すること
5	設置期間	時限設置 常設
6	備考	※名称の変更 (「進化学」は生物進化研究のすべてを含むのであり、論理的には系統学も含まれていることを踏まえ、「進化・系統学」から「進化学」に名称変更する必要があるため)

情報学委員会分科会の設置について

分科会等名：ITメディア社会基盤・メディアアーカイブ分科会

1	所属委員会名	情報学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	現在、ウェブ技術は、日常生活においても、ビジネスにおいても、不可欠なメディアへと進化しつつある。サーチエンジンの目覚ましい技術革新により裾野を爆発的に広げたウェブは、いまやTwitter やFaceBook に代表されるソーシャルネットワークサービスにより、社会コミュニティの形成に大きな役割を果たすまでになってきている。また、東日本大震災時においては、ウェブは、携帯電話が機能しない中で情報伝達メディアとして重要な役割を果たした。このような状況を顧みたとき、ウェブ・メディアは一つの技術分野にとどまる話ではなく、「ITメディア社会基盤」として、法制度も含めた今後のあるべき姿を論じる必要がある大きな社会課題といえる。また近年、HEMS (HomeEnergy Management System)データの取扱に見られるように、モノが情報を発信する時代となり、しかもその取扱が個人情報と強く関連することが頻繁に生じている。サイバーフィジカルシステムにおいては、これらの課題を避けて通ることができず、本分科会で検討する。 第20期においては、ウェブアーカイブの重要性について「記録」として取りまとめたが、著作権法改正は限定的なものにとどまっており、現時点においてもアーカイブの正当性は未だグレイな状況にある。一方で、平成23年3月11日における震災情報は後世のためには正確な保存が望まれるところでもある。 本分科会では、東日本大震災を後世に伝えるとともに、災害の全体像をとらえ、分析し、今後の対策を検討するためにも、震災時メディアアーカイブを社会的責務と考え、検討・提言を行う。

4	審 議 事 項	1. ITメディアの社会に与える影響の分析 2. あるべき社会基盤への発展戦略の提言 3. 東日本大震災の記録類のアーカイブと利用方針に関する検討・提言
5	設 置 期 間	時限設置 平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 常 設
6	備 考	※名称の変更 (本分科会は、これまで社会基盤としての情報メディアのあり方及び震災データアーカイブのあり方について検討してきたところであるが、ビッグデータ時代を迎え、今後は、震災時データアーカイブに限定せず、社会のビッグデータのアーカイブのあり方についても検討を行っていく予定であり、今後の活動の実態に合わせた名称に変更する必要があるため)

【分野別委員会】

○委員の決定（新規５件）

（法学委員会 法学分野における国際交流のあり方を考える分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
中谷 和弘	東京大学大学院法学政治学研究科教授	第一部会員
野澤 正充	立教大学法科大学院教授	第一部会員
松本 恒雄	独立行政法人国民生活センター理事長	第一部会員
金山 直樹	慶應義塾大学法科大学院教授	連携会員
山田八千子	中央大学大学院法務研究科教授	連携会員
和田 仁孝	早稲田大学法学学術院教授	連携会員

（経営学委員会 経営学分野における研究業績の評価方法を検討する分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
川本 明人	広島修道大学商学部教授	第一部会員
上林 憲雄	神戸大学大学院経営学研究科教授	第一部会員
徳賀 芳弘	京都大学経営管理研究部教授	第一部会員
上野 恭裕	関西大学社会学部教授	連携会員
小津稚加子	九州大学大学院経済学研究院准教授	連携会員
蟹江 章	北海道大学大学院経済学研究科教授	連携会員
齋藤 真哉	横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授	連携会員
野口 晃弘	名古屋大学大学院経済学研究科教授	連携会員
馬越恵美子	桜美林大学経済経営学系教授	連携会員
吉原 正彦	青森中央学院大学経営法学部教授	連携会員

（第二部 生命科学における公的研究資金のあり方検討分科会）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
石川 冬木	京都大学大学院生命科学研究科教授	第二部会員
大政 謙次	東京大学大学院農学生命科学研究科教授	第二部会員
甲斐知恵子	東京大学医科学研究所教授	第二部会員
倉田 のり	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所系統生物研究センター長・生物遺伝資源センター長	第二部会員
長野 哲雄	東京大学名誉教授、独立行政法人医薬品医療機器総合機構理事	第二部会員
福田 裕穂	東京大学大学院理学系研究科長・理学部長・教授	第二部会員
本間 さと	北海道大学大学院医学研究科時間医学講座特任教授	第二部会員
宮坂 信之	東京医科歯科大学名誉教授	第二部会員

小安 重夫	国立研究開発法人理化学研究所理事・統合生命医科学研究センターセンター長	連携会員
佐々木卓治	東京農業大学総合研究所教授	連携会員
山本 正幸	大学共同利用機関法人自然科学研究機構副機構長・基礎生物学研究所所長	連携会員

(基礎生物学委員会・統合生物学委員会・農学委員会・基礎医学委員会・薬学委員会・情報学委員会合同 バイオインフォマティクス分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
高木 利久	東京大学大学院理学系研究科教授	第二部会員
有田 正規	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所教授	連携会員
上田 泰己	東京大学大学院医学系研究科 機能生物学専攻教授	連携会員
岡田眞里子	国立研究開発法人理化学研究所統合生命医科学研究センター チームリーダー	連携会員
金久 實	京都大学化学研究所教授	連携会員
久原 哲	九州大学大学院農学研究院教授	連携会員
斎藤 成也	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所集団遺伝研究部門教授	連携会員
諏訪 牧子	青山学院大学理工学部教授	連携会員
徳永万喜洋	東京工業大学大学院生命理工学研究科生命情報専攻教授	連携会員
中村 春木	大阪大学蛋白質研究所長・教授	連携会員
美宅 成樹	公益財団法人豊田理化学研究所客員フェロー	連携会員

(物理学委員会 物理学分野の参照基準検討分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
田島 節子	大阪大学大学院理学研究科教授	第三部会員
江口 徹	立教大学大学院理学研究科特任教授	連携会員
岡村 定矩	法政大学理工学部創生科学科教授	連携会員
櫻井 博儀	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員
芝井 広	大阪大学大学院理学研究科教授	連携会員
覧具 博義	東京農工大学名誉教授	連携会員
笠 潤平	香川大学教育学部教授	連携会員

○委員の決定（追加 11 件）

（ 史学委員会 歴史認識・歴史教育に関する分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
秋山 聡	東京大学大学院人文社会系研究科教授	連携会員
佐野 正博	明治大学経営学部教授	連携会員

（ 地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 地球環境変化の
人間的側面（IHD P）分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
青柳みどり	国立研究開発法人国立環境研究所社会環境システム研究センター環境計画研究室室長	連携会員
吉田謙太郎	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科教授	連携会員

（ 地域研究委員会地球惑星科学委員会合同 地理教育分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
杉本 良男	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館民族文化研究部教授	連携会員

（ 基礎生物学委員会・統合生物学委員会・基礎医学委員会合同 分子生物学分
科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
相賀裕美子	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所教授	連携会員
荒木 弘之	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立遺伝学研究所教授	連携会員
五十嵐和彦	東北大学大学院医学系研究科教授	連携会員
三浦 正幸	東京大学大学院薬学系研究科教授	連携会員

（ 農学委員会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
宮崎 毅	東京大学名誉教授	連携会員

（ 環境学委員会 環境科学分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
安岡 善文	大学共同利用機関法人情報・システム研究機	連携会員

	構 監 事	
--	-------	--

(総合工学委員会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
疇地 宏	大阪大学レーザーエネルギー学研究センターセンター長	連携会員
市川 昌和	東京大学大学院工学系研究科上席研究員、東京大学名誉教授	連携会員
上田 完次	国立研究開発法人産業技術総合研究所特別顧問、東京大学名誉教授	連携会員
内田 健康	早稲田大学理工学術院教授	連携会員
大倉 典子	芝浦工業大学工学部情報工学科教授	連携会員
大和田秀二	早稲田大学創造理工学部環境資源工学科教授	連携会員
奥村 次徳	首都大学東京副学長、大学院理工学研究科教授	連携会員
金田千穂子	富士通研究所専任研究員、大阪大学ナノサイエンスデザイン教育研究センター特任教授	連携会員
木村 英紀	国立研究開発法人理化学研究所理研 BSI-トヨタ連携センター長	連携会員
木村 忠正	国立研究開発法人科学技術振興機構プログラムオフィサー	連携会員
小机わかえ	神奈川工科大学工学部機械工学科教授	連携会員
小山田耕二	京都大学国際高等教育院教授	連携会員
近藤 駿介	原子力発電環境整備機構理事長	連携会員
財満 鎮明	名古屋大学大学院工学研究科教授	連携会員
柴田 徳思	株式会社千代田テクノ大洗研究所研究主幹、東京大学名誉教授、公益社団法人日本アイソトープ協会専務理事	連携会員
新 誠一	電気通信大学大学院情報理工学研究科知能機械工学専攻教授	連携会員
杉原 正顯	青山学院大学理工学部物理・数理学科教授	連携会員
鈴木 久敏	筑波大学名誉教授	連携会員
鈴木 真二	東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻教授	連携会員
関村 直人	東京大学大学院工学系研究科教授	連携会員
高井まどか	東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻教授	連携会員
高田 章	旭硝子株式会社中央研究所特任研究員	連携会員
田島 道夫	明治大学 研究・知財戦略機構特任教授	連携会員

橘 邦英	大阪電気通信大学工学部教授	連携会員
為近 恵美	NTT-AT(株) 経営企画部技術輸出管理室長	連携会員
越塚 誠一	東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻教授	連携会員
所 千晴	早稲田大学理工学術院准教授	連携会員
中橋 和博	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構理事	連携会員
二ノ方 寿	東京工業大学名誉教授	連携会員
早川 義一	名古屋大学大学院工学研究科教授	連携会員
原 辰次	東京大学大学院情報理工学系研究科システム情報学専攻教授	連携会員
平岡 佳子	株式会社東芝研究開発センター研究員	連携会員
美濃島 薫	電気通信大学大学院情報理工学研究科先進理工学専攻教授	連携会員
向殿 政男	明治大学名誉教授、顧問	連携会員
山口しのぶ	東京工業大学学術国際情報センター教授	連携会員
吉村 忍	東京大学大学院工学系研究科副研究科長・システム創成学専攻教授	連携会員

(機械工学委員会・土木工学・建築学委員会合同 IUTAM 分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
藤井 孝藏	東京理科大学工学部経営工学科教授	第三部会員

(総合工学委員会・機械工学委員会合同 力学基盤工学分科会)

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
小机わかえ	神奈川工科大学工学部機械工学科教授	連携会員

（ 電気電子工学委員会 URSI 分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
津田 俊隆	早稲田大学国際情報通信センター学術院客員教授	連携会員

（ 土木工学・建築学委員会 土木工学・建築学企画分科会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
仙田 満	放送大学客員教授、株式会社環境デザイン研究所会長	連携会員

【小委員会】

○委員の決定（新規 1 件）

（ 総合工学委員会・機械工学委員会合同 フロンティア人工物分科会 フロンティア人工物ビジョン小委員会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
中谷 和弘	東京大学大学院法学政治学研究科教授	第一部会員
向井 千秋	東京理科大学副学長	第二部会員
川口淳一郎	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所宇宙飛翔工学研究系教授・シニアフェロー	第三部会員
萩原 一郎	明治大学先端数理科学インスティテュート (MIMS) 副所長・研究知財戦略機構特任教授	第三部会員
藤井 孝藏	東京理科大学工学部経営工学科教授	第三部会員
松岡 猛	宇都宮大学基盤教育センター非常勤講師	第三部会員
北里 洋	国立研究開発法人海洋研究開発機構東日本海洋生態系変動解析プロジェクトチームプロジェクト長	連携会員
柘植 綾夫	社団法人科学技術国際交流センター会長	連携会員
松尾亜紀子	慶應義塾大学理工学部教授	連携会員
大和 裕幸	東京大学理事・副学長	連携会員

○委員の決定（追加 2 件）

（ 地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同 地理教育分科会 学校地理教育小委員会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
杉本 良男	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館民族文化研究部教授	連携会員

（ 総合工学委員会・機械工学委員会合同 計算科学シミュレーションと工学設計分科会 ポストペタスケール高性能計算に資する可視化処理小委員会 ）

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
吉村 忍	東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻教授・工学系研究科副研究科長	連携会員

(提案5)

高レベル放射性廃棄物の処分に関するフォローアップ検討委員会設置要綱（平成26年10月23日日本学術会議第204回幹事会決定）の一部を次のように改正する。

改 正 後	改 正 前
（略） （設置期限） 第4 委員会は、<u>平成27年12月31日</u>まで置かれるものとする。 （略）	（略） （設置期限） 第4 委員会は、<u>平成27年5月31日</u>まで置かれるものとする。 （略）

附 則

この決定は、決定の日から施行する。

(提案 6)

東日本大震災復興支援委員会汚染水問題対応検討分科会の現地調査を実施すること

1. 現地調査を行う必要性

汚染水問題対応検討分科会は、東京電力福島第一原子力発電所における汚染水問題について総合的な検討を行うとともに、中長期的な対策のあり方についても考察し、それらに関する技術的な課題克服に向けた助言等を行い、今後の汚染水問題対策に資することを目的として設置され、現在、審議を進めるとともに、関係者からヒアリングを行っているところである。

今回、東京電力福島第一原子力発電所の現状及び汚染水対策の現況を視察し、関係者から現状、問題点、今後の課題等の説明を伺い、この結果を今後の審議に反映するために、現地調査を実施することとしたい。

2. 現地調査日程及び参加委員等（予定）

調査先	調査日時	参加委員	先方対応者
東京電力福島第一原子力発電所 (構内、免震重要棟 等)	6 月 22 日(月) 9:50～17:10	和田 章 委員長 嘉門 雅史 副委員長 沖 大幹 幹事 花木 啓祐 委員 山川 充夫 委員 吉田 克己 委員	小野所長 他

提案 7 は提言等関係のため別添 2-1～3 を御覧ください。

提案 8 ～10 は別添なし。

(提案 1 1)

○代表派遣：平成27年7-9月期の会議派遣候補者

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備考
			計			
1	国際人類民族科学連合2015年中 間会議 (IUAES Inter- Congress2015)	7月14日 ～ 7月18日	5 日	バンコク タイ	小泉 潤二 連携会員 大阪大学未来戦略機構特任教授	人類学分科会 第3区分
2	第2回層序学国際会議	7月19日 ～ 7月23日	5 日	グラーツ オーストリア	北里 洋 連携会員 国立研究開発法人海洋研究開発機構東日本海洋生態系変動解析プロ ジェクトチームプロジェクト長	INQUA分科会IUGS分科会 第3区分
3	国際天文学連合 (IAU) 第29回総会	8月3日 ～ 8月14日	12 日	ホノルル アメリカ	岡村 定矩 連携会員 法政大学理工学部創生科学科教授	IAU分科会 第1区分
4	国際天文学連合 (IAU) 第29回総会	8月3日 ～ 8月14日	12 日	ホノルル アメリカ	山岡 均 特任連携会員 九州大学大学院 理学研究院助教	IAU分科会 第1区分
5	第48回国際純正・応用化学連合 (IUPAC) 総会／第45回IUPAC会議	8月6日 ～ 8月14日	9 日	プサン 韓国	所 裕子 連携会員 筑波大学大学院数理物質科学研究科准教授	IUPAC分科会 第1区分
6	第48回国際純正・応用化学連合 (IUPAC) 総会／第45回IUPAC会議	8月6日 ～ 8月14日	9 日	プサン 韓国	竹内 孝江 連携会員 奈良女子大学大学院自然科学系准教授	IUPAC分科会 第1区分
7	国際地理学連合 (IGU) 2015年国際 地理学会議・執行委員会	8月14日 ～ 8月22日	9 日	モスクワ ロシア	氷見山 幸夫 第三部会員 北海道教育大学名誉教授	IGU分科会 第1区分
8	国際地理学連合 (IGU) 2015年国際 地理学会議	8月17日 ～ 8月22日	6 日	モスクワ ロシア	春山 成子 連携会員 三重大学大学院生物資源学研究科教授	IGU分科会 第1区分
9	第27回高エネルギーレプトン・フォト ン相互作用シンポジウム (LP15)	8月17日 ～ 8月22日	6 日	リュブリャナ スロベニア	野尻 美保子 連携会員 高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所教授	IUPAP分科会 第3区分
10	第16回国際地図学協会総会及び 第27回国際地図学会議 (ICA)	8月20日 ～ 8月28日	9 日	リオデジャネイロ ブラジル	森田 喬 連携会員 法政大学デザイン工学部教授	ICA分科会 第1区分
11	第16回国際地図学協会総会及び 第27回国際地図学会議 (ICA)	8月20日 ～ 8月28日	9 日	リオデジャネイロ ブラジル	有川 正俊 特任連携会員 東京大学空間情報科学研究センター教授	ICA分科会 第1区分

番号	国際会議等	会 期		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備考
			計			
12	国際結晶学連合運営委員会及び 第29回欧州結晶学会(IUCr)	8月21日 ～ 8月28日	8 日	ロヴィニ クロアチア共和国	高田 昌樹 連携会員 東北大学多元物質科学研究所付属先端計測開発センター教授	IUCr分科会 第2区分
13	国際宗教学宗教史学会・理事会・ 国際委員会・総会(IAHR)	8月23日 ～ 8月29日	7 日	エアフルト ドイツ	藤原 聖子 第一部会員 東京大学大学院人文社会系研究科准教授	哲学委員会 第1区分
14	国際社会科学評議会(ISSC)理事 会・2015世界社会科学フォーラム (WSSF)	9月13日 ～ 9月16日	4 日	ダーバン 南アフリカ共和国	斎藤 安彦 特任連携会員 日本大学大学院総合科学研究科教授	第1部国際協力分科会 第2区分
15	2015世界社会科学フォーラム (WSSF)	9月13日 ～ 9月16日	4 日	ダーバン 南アフリカ共和国	羽場 久美子 第一部会員 青山学院大学大学院国際政治経済学研究科教授	第1部国際協力分科会 第3区分
16	国際土壌科学連合会議、国際環境 生物地球化学会議(国際土壌科学 連合サテライト会議)(IUSS)	9月23日 ～ 10月2日	10 日	キール、ピラン ドイツ、スロヴェニア	犬伏 和之 特任連携会員 千葉大学大学院園芸学研究科教授	IUSS分科会 第3区分
17	IAC理事会(Board Meeting)& IAP/IAMP joint Session	9月28日 ～ 9月29日	2 日	ニューデリー インド	花木 啓祐 第三部会員 東京大学大学院工学系研究科教授	国際委員会 第2区分

(提案 12)

日本学術会議協力学術研究団体への新規申込みがあった団体の概要

団体名	概要
日本災害復興学会	本学会は、災害復興学の確立と研究の向上に努めるとともに、被災体験の継承・被災地支援の交流をはかり、被災地の再建、被災者の再起に資することを目的とする。このため、災害復興に関する学術的調査研究、被災地・被災者の支援、交流、並びに研究発表会及び講演会などを実施する。

提案 13～23 はシンポジウム等関係のため別添 3 を御覧ください。

提案 24～25 は別添なし。